

# プロジェクト報告書

報告日 : 2015 年 5 月 30 日

報告者 : 柳瀬 奈保

今回、エチオピア国ティグライ州において危険な中絶に関する研究調査を実施した。調査の結果、女性が危険な中絶に至る理由として知識不足など女性個人の問題、提供される医療の質が低いという医療の問題の二つに大別され、さらに社会文化的背景が女性の意思決定や中絶希求行動だけでなく、医療者の患者対応にも影響を及ぼしていることが明らかとなった。ここでは、ティグライ州都市部における望まない妊娠と避妊の現状について報告する。

## 1. 望まない妊娠

調査地となったティグライ州はエチオピア北部に位置し、エリトリアとの国境に面して広がる地域である。2007 年の国勢調査によると、エチオピア全土では人口の 68% をキリスト教が占め、その大多数がエチオピア正教とされるが、とくにお膝元とされるティグライ州にはエチオピア正教徒が多い。他のキリスト教と同じく、エチオピア正教でもまた、未婚女性の処女性が重んじられている。インタビューの結果、農村出身の若者の多くが、性に関して保守的な考えを持っているのに対し、都市部の若者層は処女性の価値を認識しながらも、活発な性行動が行われていると答えた。調査地では、若年者や家事労働者に代表される社会的弱者の中には性犯罪被害あるいは性行為を強要されたのち、望まない妊娠に至るケースが少なくない。一方で、大学生を中心に、適切な避妊を行わなかった結果として望まない妊娠に至るケースが極めて多い。

## 2. 避妊

調査地では公的施設において家族計画 (FP) として現代的避妊方法が無料で提供されている。毎日の内服が必要な経口ピルや 3 ヶ月に 1 度注射をする短期的避妊薬のほか、4 年または 5 年間効果が持続するインプラントや 10 年以上効果が持続する子宮内避妊具などの長期的避妊具があり、医療者によるカウンセリングを受け、患者が自ら選択できる。このような避妊方法が利用可能であっても、避妊を望む女性たちが皆アクセスできるとは限らない。調査地の若者層の間では薬局で誰でも購入できる安価な緊急避妊ピルが好まれ、「緊急用」としてではなく「常用」として使用されている。インタビューを行った薬局の多くが、1 日平均 60 箱売れると答えており、多くは男女問わず若者が購入するという。このように緊急避妊ピルが好まれる理由として、経口ピル等の他の避妊薬を使用するうえでの副作用出現の懸念、避妊薬を使用すれば不妊症になる若しくは家族計画は既婚者の為のものだという誤った認識のほか、手軽に内服できる為だと女性たちは述べた。処女性を重んじる社会において、未婚女性が避妊を行

うことは性行為を行っていることを宣言していることと同じ、もしくは不特定多数の人と性交渉を持つ性労働者とみなされる、と多くの未婚女性が認識している。従って、誰にも見つからず簡単に購入でき、簡単に内服できる緊急避妊ピルが好まれ、使用方法を誤った場合に妊娠に至る。

一方、宗教上の理由により現代的避妊法は利用すべきではないと考える人々もいる。敬虔なエチオピア正教徒は、断食日や宗教上の祝日は性行為を行わない等の宗教カレンダーに従っていれば、自然と性行為を行う回数が制限され避妊に繋がると認識している。この方法を採用していれば現代的避妊法を用いる必要はなく、また、子どもは神からの授かりものだと考えることから避妊を行うことは宗教上好ましくないとされる。インタビューに答えた未婚女性は、友人が性犯罪被害に遭い望まない避妊をしたため、自身の予防策としてインプラントを入れたが、ホーリーウォーター（聖なる水）に行く際にインプラントを除去したと答えた。宗教上のタブーを犯して神聖な場所に赴くことはできないと考えたためである。本調査を通じて、一般の人々のみならず医療従事者であっても、このような避妊に対する考えを持っている現状が明らかとなった。

### 3. 調査を終えて

望まない妊娠をなくすには、正しい避妊法の普及が急務である。人々が避妊に対する適切な知識を持ち、女性たちが問題なくアクセスできるようにするには、どのような対策が求められるのか。本調査を通して、独自の伝統文化をもつ社会に身を置き、文化人類学的視点を持ってその土地の人々の文脈で物事を理解し、保健問題の調査を行った経験は非常に貴重なものであった。人々の認識や行動、それらに影響を及ぼす社会文化的背景を知らずして、その土地に根づく有効な対策を講じることはできないことを体感した。外部者として今後いかなる国や地域に関わることになるろうとも、この調査を通じて学び得た視点は大きく生かされる。

最後に、本調査を行ううえで支援をいただいた一般社団法人 協力隊を育てる会に対し、深い感謝の意を表したい。ありがとうございました。

調査地の様子



エチオピア正教の教会の様子



研究助手たちの活動の様子



第二次医療施設の処置室

第一次医療施設の処置室



インタビューを行った宗教指導者A



インタビューを行った宗教指導者B



エチオピア正教のホーリーウォーター（聖なる水）